

2008年度 第4回コンプライアンス小委員会 記録

日時 : 2009年3月24日(火) 15:00~16:00

場所 : BT19階 G会議室

出席者 : 半澤昌宏総務部次長(座長・小川浩幸委員が業務都合により欠席のため)代行、金子良作委員、青山ひさき委員、苅米喜之委員

(オブザーバー) 環境センター課長 鈴木広行

欠席 : 幸坂誠司委員、小林孝委員、生田眞敏委員、赤穂克敏委員、吉川慎一委員

1 議事

(1) 報告事項

a 緊急時への対応表について教育・訓練の実施

(緊急事態教育訓練実施記録の回覧を行い、市ヶ谷地区については事業室青山委員、多摩地区については苅米委員より説明がなされた。)

b 順守評価の実施

(順守評価記録について、市ヶ谷地区については事業室青山委員、多摩地区について金子委員より説明がなされた。)

(2) 審議事項

a 環境影響評価表(B-有害)について(最終確認)

前回の小委員会で指摘された変更箇所について資料に基づき苅米委員より報告がなされた。

(資料の一部訂正、作成年月日2008→2009。多摩の表には、著しい環境側面の欄が欠落している。)

b 環境関連法規制等登録簿について

苅米委員より説明がなされた。市ヶ谷と多摩の登録簿において同一の関連法規において主要条文の記載に整合性がないことが確認され、再度エイチ・ユーで確認し変更原案を作成することが確認された。

c 緊急時への準備及び対応表について

苅米委員より報告。市ヶ谷版については了承された。多摩版がないことについての指摘があり、エイチ・ユーに作成を依頼することにした。

以上a～cについては、市ヶ谷地区と多摩地区で整合性を持たせる。

なお、上記変更箇所については、エイチ・ユーが変更案の作成を急ぎ、2009年3月30日(予定)の環境保全委員会、市ヶ谷・多摩環境委員会には、現在変更中であることを報告する。

(3) その他

a 2008年度コンプライアンス小委員会の活度について

小川座長の原案について、委員各位の意見をいただきたい。3月末までにご意見をメールにて頂戴したい。

b コンプライアンス小委員会の存在意義について

コンプライアンス小委員会の存在意義について、問題提起がなされ、フリー・トーキングを行った。事業室、オレンジネット校友課、多摩総務部で本来業務として取り組んでいるものであり、小委員会を開催して報告・審議をし、環境委員会に報告するものではなく、必要に応じて臨機応変な対応が求められる性質のものであり、委員会制度にはなじまないものとの意見の一致を見た。環境委員会の管轄外とすることが妥当と思われる。

以上